

“ホーフ ステッフ ジャンプ”

津久井支援学校 進路だより

令和7年10月24日発行 第5号

【高等部1年 後期校内実習の様子 10月6日（月）～17日（金）】

前期校内実習同様、各工房を会社と見立て、企業や福祉事業所から受注された業務を貸り受けた資材を使って、「働く」体験に取り組みました。各工房を参観すると、前期校内実習より「できました」「〇〇先生、教えてください」と相手に聞こえる声で報告・連絡・相談する姿や「こんにちは」と挨拶できる生徒が増えた様に感じました。また、ペンライトの分解作業では、1つの資材をグループ内で分業し、協力しながら分解する姿も見られました。

1年生の進路目標は「知る」です。校内実習や福祉事業所見学を通して卒業後の進路について、進路面談などで様子を共有しながら一緒に考えていきましょう。



ペンライトの分解作業



CD・DVDの分解



銅線取り作業

【高等部2年 校外実習の様子 10月7日（火）～17日（金）】

津久井生涯学習センターの部屋を借りて校外実習を行いました。校外実習では、学校とは異なる環境で仕事体験をすること、自力登下校・公共交通機関の利用を目的にし、高等部3年生の現場実習に向けた練習のために取り組みました。

普段は、スクールバスを利用している生徒も津久井生涯学習センター最寄りバス停の「三ケ木」まで自力登下校する生徒も数名おり、とてもいい経験となりました。また、仕事として取り組んだコースターづくり・エコたわし制作では、決められた手順に沿って取り組む練習にも挑戦しました。回数を重ねるにつれ、手順を覚え、一つ一つ丁寧に取り組む姿も見られました。



【現場実習】

卒業後企業就労を目指している2年生が、近隣の企業で実習を行いました。始めて1人で行く実習先に不安・緊張を感じつつも、担当者の説明をよく聞き、働く体験をすることができました。

【高等部3年 現場実習】

卒業後利用したい福祉事業所・企業で現場実習を行いました。

事前面接時は緊張していた生徒たちでしたが、実習日数を重ねると職員さんとコミュニケーションを取る姿や目標達成に向けて決められた作業に集中して取り組む姿が見られました。季節の変わり目や寒暖差等で体調管理が難しかった中、大きく体調を崩さず欠席が続かなかった所も素晴らしいです。

今後は、進路面談にて卒業後の進路先について現場実習の評価表を基に進路決定に向けて話し合います。また、福祉サービス種・進路先によって、手続きが異なります。個々に応じて丁寧な説明に努めますが、ご不明な点がありましたら、進路担当までお声かけください。

【高等部1年 学校アセスメント実施 10月9日（木）】

学校アセスメントは、ペグ・タッピング・はさみ・ボールペンの組立や分解作業を通して、手指の巧緻性や全体指示理解・操作等の実態を把握し、支援の手立てを検討するものです。

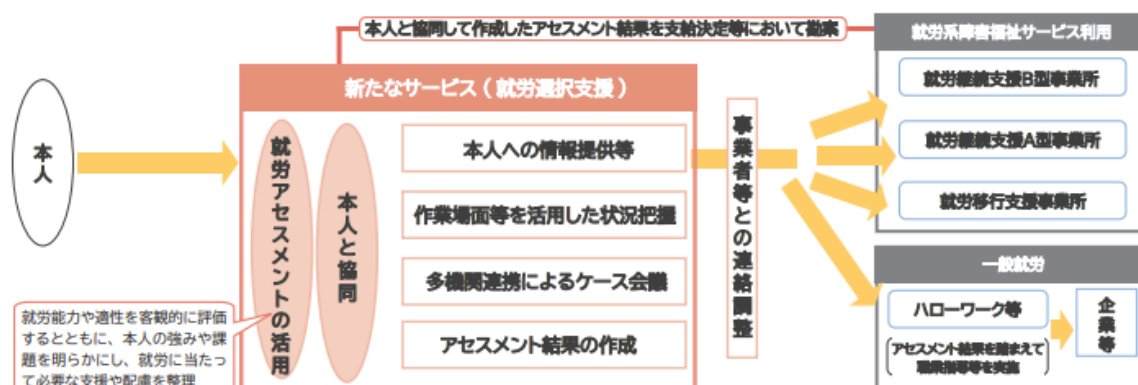
当日は、総合教育センター職員の方にも協力していただき、強いや課題を把握することができました。結果につきましては、進路面談で共有させていただきます。



【「就労選択支援」がはじまります】

令和7年10月から、「就労選択支援」と呼ばれる新たな障害福祉サービスが開始しました。就労選択支援では、本人が就労能力や適性を客観的に評価するとともに、本人の強みや課題を明らかにし、就労に当たって必要な支援や配慮を整理します。具体的には就労アセスメントの方法を活用し、本人と協同の上、本人への情報提供等、作業場面等を活用した状況把握、多機関連携によるケース会議、アセスメント結果の作成を実施します。そして、その結果を本人にフィードバックして、本人と一緒に将来の働き方などを考え、必要に応じて事業者等との連絡調整を実施するものです。

自らの進路を自己決定していくことは、簡単そうに見えて大変難しいことです。今後は、高等部1・2年生の就労継続支援A型・B型事業所、就労移行支援事業所を希望する生徒は必須となります。詳細については、進路面談時に該当生徒・保護者へお伝えいたします。



厚生労働省 HP「就労選択支援マニュアル」より抜粋

※【高等部1・2年生保護者対象】11月28日(金)午後開催「京王シンシアスタッフ株式会社」(特例子会社)の見学について

・申込締切が10月24日(金)までとなっておりますが、まだ人数に余裕があります。この機会にぜひご参加いただければと思います。ご希望者は、10月31日(金)までに申込ください。